

幼稚園・保育所の耐震・老朽化対策にかかる、各工事の費用試算(例) と 主な特徴

資料 2

○各工事にかかる費用の対比について(保育所での耐震対策が必要なケースの試算例)

①	現在地	保育所	工事内容 耐震補強 大規模改修	必要な工程				①のコスト との対比	移転	工期
				仮設園舎	建築工事	—	設計監理			
①	現在地	保育所	耐震補強 大規模改修	仮設園舎	建築工事	—	設計監理	1.0	2回	6ヶ月
②	現在地	保育所	建替え	仮設園舎	建築工事	解体工事	設計監理	2.2	2回	12か月
③	幼稚園 と 一体的	保育所	新築	—	建築工事	—	設計監理	1.8	1回	6ヶ月
		幼稚園	大規模改修	—	建築工事	—				休暇期間中

- ・工事前に基本設計・実施設計の期間が概ね一年程度必要となります。
- ・移転の時期については、園の運営に極力影響のない時期を選ぶ必要があります。

○各工事の主な特徴

	メリット	デメリット
①	当面の費用が最も少ない 工事前後の環境変化が比較的少ない	施設機能の改善を図ることができない 建築後相当年経過しており、残りの建物寿命は短い 移転が2回必要となる 仮設園舎の建築場所の確保が必要
②	施設機能の改善を図ることができる 新設前後の環境変化が比較的少ない	費用が最も多い 移転が2回必要となる 仮設園舎の建築場所の確保が必要
③	施設機能の改善を図ることができる 幼稚園施設の有効活用により、新設工事の規模を圧縮できる 保育所用地の有効活用が図れる	施設の移転による、環境変化がある 幼稚園と保育所の運営面で調整が必要